

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

横浜水道の歴史展 を開催します！

～ 10月17日は近代水道創設記念日 ～

日本の近代水道^{※1}は明治20(1887)年10月17日にイギリス人技師ヘンリー・スペンサー・パーマー氏の指導のもと、横浜で創設され、公衆衛生や消火技術の向上など、都市の発展に大きく貢献してきました。

水道局では、この近代水道創設を記念し、大型タペストリーや獅子頭共用栓^{※2}のレプリカなどを展示した「横浜水道の歴史展」を開催します。創設から現在までの道のりを分かりやすくまとめてご紹介していますので、ぜひお越しください。

※1 近代水道とは川などから取り入れた水をろ過して、鉄管などを用いて有圧で給水する水道のこと。

※2 ライオンの口から水が出るようになっていたため「獅子頭共用栓」と呼ばれ、明治20年に143基が市内各所に設置され、最盛期には約600基にもなりました。

- 開催日時
10月16日（月）13時から10月19日（木）16時まで
- 開催場所
横浜市役所 1階展示スペースA
- 展示内容
横幅約10メートル、高さ2.7メートルの大型タペストリーや獅子頭共用栓のレプリカなどを展示します。



獅子頭共用栓

◆ 展示タペストリーイメージ



裏面あり



参考 横浜水道の歴史を YouTube で PR <https://www.youtube.com/watch?v=fUPbYdhtYzM>

水道局では、近代水道創設の道のりを振り返るとともに、これからも安全な水を安定してお届けする取組について、分かりやすくお伝えする PR 動画「近代水道創設の道のり」(5分40秒)を YouTube で公開しています(英語版や30秒の短編も公開中)。ロマンとノスタルジー溢れる映像・洗練されたナレーションに乗せて、横浜水道の魅力を発信しています。



動画はこちら

お問合せ先

水道局広報課長 鳥山 由美 Tel 045-671-3103